

謹賀



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様方におかれましては、希望に満ちた平成30年の新春を晴れやかに迎えることと、心からお喜び申し上げます。

旧年中は市議会活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、緊迫する北朝鮮情勢など、日本を取り巻く安全保障環境は厳しさを増しております。また、九州北部の豪雨災害など、自然災害も相次ぎました。こうした中、11月には第4次安部内閣が発足し、北朝鮮問題への対応をはじめ、自然災害に対する事前防災や減災対策等の取り組み、少子高齢化克服のための幼児教育の無償化や新たな経済政策など、様々な課題に向けた取り組みを注視して行きたいと思っております。

県内では、米軍による事件・事故が相次ぎました。1月の本市伊計島での攻撃ヘリコプター不時着を始め、10月には東村で大型輸送ヘリコプターが緊急着陸し炎上、また、津堅島沖合においては、米軍

によるパラシュート降下訓練が増加し、重大な事故につながる可能性があることから、市議会は、これらの事件・事故原因の究明や再発防止・訓練中止等、日米地位協定の改定などを強く要請致しました。

一方、女子プロゴルフ宮里藍選手の引退は県民に衝撃を与えました。世界ランキング元1位や国内外のツアーでの輝かしい実績等、早すぎる引退に、ゴルフ界にとっても大きな痛手となりましたが、昨年7月にプロテストに合格した本市出身の新垣比菜選手や男子アマチュアの比嘉一貴選手等、若い選手の今後の活躍を期待しております。

本市では、島袋市長が3期目の市長就任を果たし、子育て支援策の充実、更なる経済の活性化等、市民が夢と希望を持てるまちの実現に向けた市政運営の取り組みに大いに期待したいと思えます。

5月には、南原小学校に南原学童クラブが開設され、本市では初めての学校施設に隣接した学童クラブとして、下校時の安全性の確保や学校との連携など、児童の放課後の居場所づくり、大いに貢献してくれるものと信じております。

7月、うるま市・盛岡市友好都市提携5周年を迎え、さんさ踊りへの参加や本庁舎での記念式典等、様々な行事が行われ、両市の友好を深めました。

また、スポーツの分野では、大変喜ばしい出来事があり、本市出身の東浜巨選手

並びに友好都市盛岡出身の菊池雄星選手が最多勝を獲得し、東浜選手におきましては日本シリーズに出場するなど、躍進の年になりました。両選手のこれからの活躍を期待しております。

さて、今年は、市民待望の農水産業振興戦略拠点施設がオープンを予定しており、本市農水産物に特化した直売所等の設置、市生産品のブランド化等、うるま市第二次産業の振興に多いに寄与するものと確信しております。

また、市内の中学校の空きスペースを活用した公設民営の小規模保育所の開設を予定しており、待機児童の解消や生徒の情操教育、職場体験の場としての有効活用を期待したいと思います。

迎えた平成30年は、うるま市議会としまして、安心・安全で「市民が夢と希望を持てる、魅力あるうるま市」の実現に向けて、全力で取り組んで参る所存であります。

どうか、本年も市議会に対し、尚二層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が市民皆様にとりまして、健康で素晴らしい一年でありますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

平成30年元旦

うるま市議会議長

おおや せいぜん
大屋 政善